



貴志康一

大阪生まれの夭折の天才音楽家貴志康一（1909年：明治42年～1937年：昭和12年）を、ご存じですか？  
 貴志康一は、大阪に生まれ裕福な家庭で育ち、高校生の時にスイスに留学しベルリンで音楽を学び、ストラディヴァリウスを手に入れ日本で演奏会を開き、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団で自ら作曲した曲を指揮。帰国後に若手音楽家として活躍しているさなか、盲腸炎に腹膜炎を併発し28歳でこの世を去りました。  
 貴志康一は、9歳で今の芦屋市伊勢町に引っ越すまで、現在の大阪市都島区の庭に八幡の松花堂を写したお茶室がある大きなお屋敷に住んでいました。お茶室は戦災を免れ、紆余曲折を経て、2013年太閤園「桜苑」の日本庭園内に大阪市指定文化財として元の姿に蘇りました。  
 この茶室で康一の父貴志二代目彌右衛門が、ドイツではヒトラー率いるナチス党が台頭し、日本が中国からの日本軍撤退を拒否し国際連盟を脱退した1933年（昭和8年）に茶事を催しました。  
 茶事の趣向として、32歳の新進気鋭の料理人に、農家の種入れ箱をヒントに松花堂昭乗が絵箱や煙草盆として愛用していた器に茶懐石の料理を盛り付けるように依頼しました。それが『松花堂弁当』として広まり、その料理人こそが、後に名料亭「吉兆」の創始者となる湯木貞一でした。  
 同じ年、茶室を舞台に24歳の貴志康一も自ら出演・監督をつとめた映画「鏡」を撮影し、10月にはベルリンでも上映されました。  
 ～ 赤いかんざし何でもの言わぬ。あたいがこんなに想てる事を、せめてお前が言わしゃんせ。  
 赤いかんざし涙に濡れて。何でそんなに悲しそう。天神祭りの篝火をお前はちゃんと忘れたか。～  
 （貴志康一作詞・作曲「赤いかんざし」より）

自作の歌詞に織り込むほどお気に入りだった天神祭の宵宮の夜に、  
 旧貴志邸内にあった松花堂茶室を囲む太閤園「桜苑」で、貴志康一と出会いませんか・・・。

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も難関といわれる上海音楽学校に入学。古箏を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く学ぶ。1990年7月同校を首席で卒業し、来日。  
 1996年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における現在の中国楽器ブームの先駆けとなる。南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。「トップランナー」「徹子の部屋」など多数のテレビラジオ番組に出演のほか、朗読、狂言、人形浄瑠璃文楽、和太鼓とのコラボレーション、皇太子様、雅子様への御前演奏等々、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサクソ奏者、KENNY Gのジャパンツアー全公演にゲストとして呼ばれる。  
 近年、教育活動にも積極的に取り組み、古箏教室を開き古箏の普及にも努めている。2010年上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷である上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。  
 また、2011年4月～2015年9月ABCラジオ「伍芳（ウー・ファン）のふらっと♪阪神沿線」でパーソナリティを務める。2015年1月14日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あのひとともに」を発表。2015年4月15日に通算11枚目のアルバム「My Favorite Movies」を発売。同年11月神戸市文化奨励賞を受賞。2016年4月よりFMCOCOLO毎週月～金AM5:53～5:58「中国国家観光局 ウー・ファンといっしょに中国へ」のナビゲーターを務める。中国の古典、現代曲だけにとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。  
 ★ Official Website <http://wufang.com> ★ <https://www.facebook.com/WuFangOfficial>

チャペルコンサート 演奏者

中国古箏演奏家・作曲家  
伍 芳（ウー・ファン）



## 「天神祭のごちそう松花堂弁当とベルリン名物料理」 監修

ごちそうプロデューサー 広里貴子



大阪府出身／大阪あべの辻調理師専門学校で日本料理技術講師を経て、2006年「樹貴重」設立。NHK連続ドラマ小説『ごちそうさん』『マッサン』『あさが来た』の料理指導を担当する他、テレビ番組「魔法のレストラン」や「ちんぷいぷい」の料理コーナーにも出演。料理教室の講師をはじめ商品開発、書籍の製作やラジオの料理番組、講演など各分野で関西の食材・食文化の魅力を伝える為に活躍中。製作協力出版物：朝日新聞出版「ごちそうさん レシピブック1・2」他

## 《主催：大阪から情報を発信する文化活動グループ「熟塾」》

1994年10月、作家の藤本義一氏に「熟塾」と命名いただき、「塾生一人一人が自立性と自尊心をもって勉学せよ」と幕末の大阪・適塾を開いた緒方洪庵先生の思いを受け継ぐ為、年齢、職業、男女や国籍を問わず、塾生どうしが、互いの存在、考えを尊重し、共に語り、共に学ぶ、充実した人生の時間を創造し、共有する事を目的に、会社員や弁護士など20名で旗揚げ。大阪及び関西の文化や歴史をテーマに、主旨に賛同いただく講師の協力を得て、自主企画講座を運営し、一般・学生にも公開。

## 大阪生まれの夭折の天才音楽家貴志康一を偲ぶ天神祭宵宮会 参加申込書

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：06-6946-2815

|      |   |        |     |
|------|---|--------|-----|
| お名前  |   |        |     |
| ご住所  | 〒 |        |     |
| TEL  |   | E-mail |     |
| 参加人数 | 名 | 会費振込日  | 月 日 |
| 備考   |   |        |     |

- 問合せ電話：090-8381-0150
- 熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> BXI05250@nifty.com から、お申し込みいただけます。
- 入金確認後、会場案内図等を表記した参加証を郵送させていただきます。
- 郵便振替 00930-1-18061 口座名：熟塾